

奄美群島の観光・交流・情報発信の拠点、鹿児島県奄美パークからのお便りです。

鹿児島県

Amami Park Public Relations vol.27

# 奄美パークだより



FREE

ご自由に  
お持ちください



## 目次 | CONTENTS

- P04 奄美パーク 令和5年度奄美の郷イベント紹介
- P06 奄美パーク 令和5年度田中一村記念美術館企画展及びイベント紹介
- P08 徳之島特集 徳之島町
- P10 天城町
- P12 伊仙町
- P14 奄美パーク NEWS&お食事とお土産
- P16 奄美パーク利用のご案内

奄美文化の魅力の一つはダイバーシティ（多様性）にあると思います。

シマによって唄も踊りも言葉も大きく異なり、ひと山越えると通じないほど生活文化に違いがあります。例えば「ありがとう」は大島本島では**ありがっさまりょーた**と言いますが、喜界島では**うふくんでーた**、徳之島では**おぶらだれん**、沖永良部では**みへーでろん**、で与論に行くとうとうとがなし。

違うということは、それだけユニークな文化に彩られているということです。この自由で美しい文化を背負って、各シマから職員が集まり、奄美パークを運営しています。

今年、この便りの編集担当は徳之島からやってきている若手職員です。記事からシマへの愛情と、軸足を徳之島に置きつつ奄美群島全体のハーモニーを奏でる仕事ぶりを感じていただければ幸いです。

D&I(ダイバーシティ&インクルーシブネス)は今、国際社会の大きなテーマです。奄美が世界のモデルケースになるのではないのでしょうか。

奄美パークはこうして地域への熱い思いを抱いたスタッフを得て、過去、現在、未来の地域文化を見つめ、世界に発信し続けています。

鹿児島県奄美パーク園長・田中一村記念美術館館長 **宮崎 緑**





令和5年8月19日（土）  
奄美パーク夏祭り  
シマジマだより～与論島



令和5年7月16日（日）  
ネリヤカナヤフェスタ



令和5年6月25日（日）  
奄美の郷ライブステージⅡ  
「ダンス！ダンス！ダンス！」



令和5年6月11日（日）  
わきゃステージ in パーク  
「龍郷町懐メロ同好会 昭和歌謡祭」



令和5年5月3日（水・祝）  
あまみっ子フェスタ



令和5年4月22日（土）  
わきゃステージ in パーク  
「民謡民舞青少年奄美連合大会・  
奄美シマ唄日本一大会」

毎年奄美群島の各島々に焦点を当て、伝統文化など、その島にしかない魅力を伝えるイベント  
今回は、与論島から20名を超えるエイサー太鼓グループのゆんぬエイサーと、シンガーソングライターの川畑アキラさんを招き出演してもらった。  
イベントの最後には、与論島の特産品の抽選会もあり、会場は大いに盛り上がった。

奄美の風習では、「海」を信仰の対象としていることから、ネリヤカナヤフェスタのオープニングイベントとして海を連想させるフラダンスパーティーを開催した。  
6組の出場者がハワイのゆったりした情景が目に見えそうな音楽に乗せてフラダンスを披露し会場を盛り上げた。  
また、フェスタ開催中(7/16～8/31)は、サンゴ等を用いた親子ワークショップや海洋生物写真展も開催した。

梅雨明けも近い夏の始まりを予感させる時期に、フラダンス、フラメンコ、琉球舞踊、日本舞踊、HIPHOPなど様々なジャンルのダンスや舞踊が一同に会したステージイベントを開催した。  
各団体は、それぞれのジャンルの魅力溢れる演目を披露し、観客からは、いろんな踊りが見られて楽しかったなどの感想をいただいた。

地元の皆さんから愛されている龍郷町懐メロ同好会が、バンドによる生演奏を伴奏に昭和歌謡を熱唱した。  
出演者は、ねじり鉢巻きや駅員風と曲のイメージに合わせた衣装で登場し、コスチュームでも会場を盛り上げた。

節田小学校のアマンディー太鼓や伊津部小学校のさざなみバンドなど、奄美大島の子どもたちによるステージ発表のほか、ゲストのパフォーマンスアーティスト K@ITO さんが、華麗なジャグリングや手品を披露した。  
また、奄美市レクリエーション協会による昔ながらのコマ遊びやバルーンアートなどを行い、たくさんの子ども達が楽しんでいた。

公益財団法人日本民謡協会及び同奄美地区大会実行委員会が主催し、青少年の部で8月の全国大会出場をかけた「民謡民舞青少年奄美連合大会」、9月の九州大会出場を目指す「奄美シマ唄日本一大会」の予選会として開催された。  
奄美大島、徳之島、喜界島から総勢95人が出場し、各島を代表する唄者たちが自慢の歌声を披露した。

## 令和5年度 奄美の郷 イベント紹介

令和6年1月6日（土）  
奄美パーク 新春寄席  
新年の初笑いとして奄美パークで開催している恒例の寄席イベント  
今年は、瀬戸内町、徳之島の伊仙町、奄美パークの3ヶ所で公演を行った。  
三遊亭鬼丸さんと金原亭馬太郎さんが落語を、ウクレレいじさんが、ウクレレ漫談を披露し、観客は大笑いしながら楽しんでた。

令和5年12月24日（日）  
第17回 奄美パーク 子どもクリスマス会  
子ども達を対象に毎年開催しているクリスマスイベントを開催した。  
ステージでは、奄美看護福祉専門学校生によるレクリエーション、坂西ユキさんのミュージカル歌唱、ティダスポーツクラブ山下誠士郎先生による3段に積み上げたパイプ椅子の上で逆立ちをするパフォーマンスなどがあった。  
最後には、お楽しみのクリスマスプレゼント大抽選会で盛り上がった。

令和5年12月3日（日）  
フユウンメコンサート  
～奄美の様々な恵みに感謝する音の収穫祭～  
毎年、秋から冬へ移り変わる季節の折目目に「フユウンメコンサート」と題して音楽イベントを開催している。  
今年は、奄美大島で活動している里朋樹さん、Yuzukanaさん、アマゴスさんと徳之島から招いた禎一馬さんの計4組が出演  
禎一馬さんの演奏は、会場の観客を巻き込み大いに盛り上がった。

令和5年11月19日（日）  
わきゃステージ in パーク  
「第13弾 島んちゅ会でい・まーじんま！」  
龍郷町で島唄教室をしている「島んちゅ会」主催によるわきゃステージが行われた。  
子ども達による「ワイド節」や代表の福山幸司さん、平久美さんによる島唄を披露した。  
また、友情出演として日本舞踊、フラダンスなども披露され観客を魅了した。

令和5年10月29日（日）  
ハロウィンイベント  
仮装して来場するハロウィンイベントを開催した。子ども達のほとんどは、流行りのアニメのコスプレやハロウィンにちなんだ魔女などのコスプレをして来園していた。  
また、イベントの目玉として古民家をお化け屋敷に大改造し、列が途切れないほど人気のアトラクションだった。

令和5年9月24日（日）  
奄美パーク  
わくわくあそび広場  
様々なゲームや体験を通して親子で楽しんでもらうイベントを開催  
当日は開園直後から、親子連れがなだれ込むように来園し、それぞれのブースへ向かい楽しんでいた。  
午後の部では、奄美手熟師会による4種類もの工作体験もあり、子ども達はレクチャーを真剣に聴きながら取り組み、親子で協力しながら終始楽しんでた。







令和5年9月2日(土)  
美術講演会  
「アーと心が動く一村さん  
- 奄美の田中一村 -」

当館の元学芸専門員である、花山潤治氏を講師に迎え、在職当時に取り組み  
ていた「有屋・和光・浦上・大熊」地区  
(一村が奄美で過ごした19年間の生活圏)  
についての研究成果を発表した。

花山氏は、講演の中で、一村作品につ  
いて、“プレミアム”や“ラグジュアリー”  
などの表現を用いた解説や、田中一村は  
I ターンの先駆者であるとした独自の見  
解、研究結果を述べられた。

令和5年8月20日(日)  
夏休み親子草木染め体験

身近な植物の葉や茎、根などで繊維を  
染める体験を通して、自然への興味関心  
を向上させることを目的に、親子で体験  
できるワークショップを実施した。

染色家である植田正輝氏を講師に迎え、  
奄美パーク内で採取したフク木を煮出し  
て作った染色液でハンカチやTシャツ等  
を染め、自然の素材を活かした染め物を  
体験し学んだ。

令和5年7月30日(日)  
夏休み親子  
バックヤードツアー&鑑賞会

バックヤードツアーでは、学芸専門員  
が美術館の4つの役割や鑑賞の際のルー  
ルなどについて、クイズを交えながら紹  
介し、館長室や学芸専門員室など、普段  
見ることが出来ない美術館のバックヤ  
ードを案内した。

鑑賞会では、参加者は学芸専門員と共  
に常設展示室を巡り、一村の生涯や作品  
について解説を受けた。

令和5年7月9日(日)  
美術講演会  
「川端龍子をご存知ですか  
- 田中一村との意外な接点 -」

「田中米邨」から「田中一村」に改名し、  
日本画壇に挑戦するきっかけになった  
「青龍展」を主宰した川端龍子研究の第  
一人者である木村拓也氏を講師に迎え、  
川端龍子と田中一村との出会いや関係性、  
また、それらの分析を基に、一村芸術が  
形づくられていった過程を独自の見解で  
述べられた。

令和5年6月10日(土)～25日(日)  
第69回県美展 奄美関連作家展

県内の美術文化の振興を目指し、昭和  
29年から半世紀を越えて春の総合芸術  
展として広く親しまれ、69回目を迎え  
た県美展において、入賞・入選した奄美  
関連作家の作品25点(洋画10点、彫刻  
1点、工芸2点、写真12点)を展示し、  
作家によるギャラリートークも実施した。

令和5年5月3日(水)～28日(日)  
第2回奄美を写す写真展

本写真展は「奄美」をテーマにした全  
国公募展である。

まだ公募展としては日が浅いが、全国  
から237点の素晴らしい作品が寄せられ、  
厳正な審査の結果、入賞10点、入選135  
点の合計145点の作品を展示した。

スマートフォンの普及により、写真が  
より身近なものとなり、応募の約4割を  
中高生が占めた。

# 令和5年度 田中一村記念美術館 企画展及びイベント紹介

令和6年1月12日(金)～23日(火)  
おもひでの大島紬展  
～まとう喜びで楽しむつむぐ縁～

鹿児島県大島支庁主催で奄美の伝統工  
芸品である大島紬の素晴らしさや魅力、  
守り継いでいく大切さを伝えるために開  
催された企画展

大島紬の着物34点を、それぞれにま  
つわるエピソードや持ち主の思い出が綴  
られた解説パネルと共に展示した。

明治初期の品や内閣総理大臣賞に輝い  
た品など、貴重な大島紬が並んだ。

令和5年12月23日(土)～  
令和6年1月8日(月)  
龍郷町立小・中学校  
図画工作・美術科学習発表会

龍郷町の小・中学校10校の児童・生  
徒が、授業で制作した粘土などの立体作  
品56点、絵画や版画などの平面作品418  
点を展示した。

来場者から、「子どもらしい個性的な作  
品や独創的な視点に驚きや感動した」「面  
白い作品が多い」といった感想をいただ  
いた。

令和5年11月18日(土)～  
12月10日(日)  
第13回田中一村記念  
スケッチコンクール

奄美群島の小・中学校から、奄美の自  
然や生活、伝統文化をテーマとした絵画  
作品を募集し、1,145点の出品があった。  
その中から、厳正な審査で選ばれた入賞・  
入選作品409点を展示した。子どもたち  
の色彩豊かで個性あふれる作品が会場を  
彩った。

令和5年11月12日(日)  
創作体験教室  
「森でカメラを学ぶ写真講座」

奄美群島の自然への興味関心、表現す  
ることの楽しさ、高度な写真撮影技術の  
習得に加え、撮影時のルール・マナーを  
学ぶ機会として実施した。

写真芸術家の武部守俊氏を講師に迎え、  
カメラの基本操作のレクチャーを受けた  
参加者は、奄美自然観察の森にて、植物  
や虫など自ら撮影したい物を探し、写真  
撮影に挑戦した。

令和5年10月22日(日)  
創作体験教室「日本画講座」

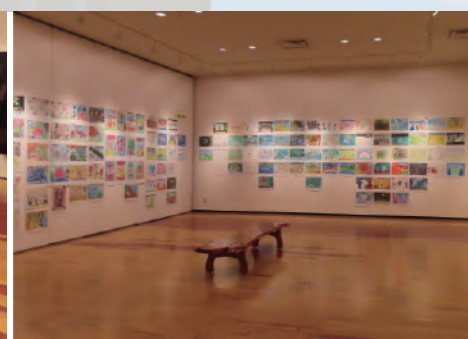
当館初代学芸専門員の西村康博氏を講  
師に迎え、墨や日本画用絵具を使用し、  
日本画を描くことによって、田中一村を  
身近に感じてもらえるよう開催した。

参加者は、花や野菜などのモチーフを  
しっかり観察し、スケッチしてから彩色  
する伝統的な日本画の描き方を学んだ。

令和5年10月14日(土)～  
11月5日(日)  
第22回奄美を描く美術展

本美術展は、「奄美」をテーマにした全  
国公募展である。今年度は全国から  
113点の作品が寄せられ、厳正な審査の  
結果、入賞12点、入選48点の合計60  
点を展示した。

大賞受賞者である水上卓哉氏(愛知県)  
は、授賞式の際「一村さんからのご褒美  
のよう」と喜びを語った。





## 観光名所



### ↑ 朝潮太郎記念像

徳之島町井之川出身の、第46代横綱。幕内優勝5回、殊勲賞4回の功績を称え、1995年に建立されました。

第46代横綱朝潮太郎記念館が2021年にオープン。



### ← 蛙プリンスビーチ

サンゴ礁に囲まれた白い砂浜が1.5kmにわたって続く美しいビーチ。

昭和47年、当時の皇太子殿下と美智子妃殿下が訪れたことから名づけられました。



### 金見崎 ソテツトンネル→

樹齢300年～350年のソテツトンネル。もともとは畑の境界線と暴風対策のために植えられたソテツが、長い年月をかけてトンネル状のアーチを作り上げたものです。

## 特産品

### 徳之島牛→

徳之島は、ブランド牛の元となる肉用子牛飼育の畜産業が盛んに行われていることから、ふるさと納税の寄付金を用いることで、資金面や飼料の確保などといった問題を解消し、夢であった5等級の徳之島牛を令和3年度に初めて出荷することが出来ました。



### ジェラート& ソルベ↓

徳之島を代表する南国のフルーツや農産物をたっぷり使用し、甘すぎずさっぱりとした後味に仕上げており、甘いものが苦手な方からも人気があります！

完熟マンゴー、パッション&ドラゴンフルーツ、タンカン、塩、シークニン等といった他では味わうことが出来ない多種多様なフレーバーを取り揃えております。



### ← 徳之島角煮豚カレー

徳之島でのびのびと育った島豚の角煮がごろっと入ったご当地カレーです！

こだわりの島豚はもちろん、島内産の野菜もふんだんに使用した本格派のスパイシーなカレーです。



## 徳之島特集 徳之島町 伝統芸能



### 亀津浜踊り

### いつ行うのか

基本は亀津浜踊り保存会が、伝統の継承として第1・3水曜に練習を行っていますが、披露の場・子ども達への認知、継承として、小・中学校の運動会でも行っています。

### 見どころ

最初は、ゆったりした太鼓のリズムに合わせ唄い、踊り出し、徐々にテンポが早くなり、唄と太鼓に合わせて踊ることが出来なくなったら太鼓を乱打しクライマックスとなります。

### 亀津浜踊りとは？

徳之島町指定民俗文化財（無形民俗文化財）として認定されている伝統芸能で、旧暦の7月に神様に新稲の収穫を感謝するために行われています。



### 徳之島町

浜踊り練習風景(旧南区公民館 昭和56年当時)



## 観光名所



←ムシロ瀬

花崗岩の巨岩は、徳之島の北西端に沿って、この特徴的な海岸の一端を作り上げています。ムシロ瀬の岩は、6千万年以上前、地下およそ10kmで形成されました。

### 水中鍾乳洞→ (ウンブキ)

ウンブキは、石灰岩の岩盤崩落によって形成されました。また、アンキアラインプールという地下洞窟によって海とつながっている内陸水域です。



### ↑<sup>いん じょうふた</sup>犬の門蓋(めがね岩)

東シナ海の荒波に浸食された断崖と奇岩の絶景です。

徳之島を代表する観光スポットで、奄美群島国立公園に指定され、ミシュラン・グリーンガイドにも星付きで掲載されています。

## 徳之島特集 天城町 伝統芸能



前野田植唄

## 特産品

### 徳之島ハチミツ→

島の方言で「サシ」と呼ばれる泡雪せんだん草100%の天城町産のハチミツ

コクのあるなかにもフルーティーさが感じられ、クセもないので使いやすい一品です。



### ↓天城町産 パッションフルーツ

パッションフルーツは、果肉を生で食べてもらうのが1番のお勧めですが、黒糖焼酎に入れたり、スムージー等のアレンジもおススメです！

また、表面がしわしわになるにつれ甘みが増していくため、味の変化も楽しめます。



### ←イノシシ肉

島の大自然で、すくすく育ったリュウキュウイノシシです。

リュウキュウイノシシは本土のイノシシと比べ小柄で、臭みも少ないと言われています。



### いつ行うのか

毎年、4月の田植え時期に伝統継承として小学生と一緒にに行ったり、徳之島民謡大会などのイベントでも島の伝統文化・芸能として披露しています。

### 見どころ

田んぼの畦で男性が太鼓を叩き歌い、女性はそれに合わせて田植えを行いながら歌います。

歌詞は、田植えの労働や励まし、男女の恋愛、豊作への願いなどが織り込まれており、男女の交わりによって身ごもる女性と、稲の実りとが対比されています。

### 前野田植唄とは？

田植えを効率化し、豊作を祈願する労働歌で、現在は、休耕に伴い田んぼが無くなってきていることから、前野民謡保存会が集落内に田んぼを復活させ、毎年、その実演を行っています。





## 観光名所

いぬたぶみさき  
↓ 犬田布岬



### 前里屋敷 ↑

薩摩藩統治下時代、郷土格を有する平家一族が居住した屋敷です。屋敷内には戦時中に受けた弾痕も見られます。屋敷がある阿権集落はサンゴ礁を積み上げた石垣が広がり、屋敷の北側には樹齢300年とされるガジュマルの大木もあります。



伊仙町の最西端に位置する琉球石灰岩の海蝕崖で形成された犬田布岬。奄美大島国立公園第二種特別地域に指定されています。

岬の先端には、「戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦士慰霊塔」が建立され、半世紀を経過した今日でも、平和を祈る場所として多くの人が訪れています。



### ↑ なくさみ館

年間約15回の闘牛大会が開催され、1月、5月、10月に開催される全島一大会は島内外の多くのファンを魅了します。

大会がない期間は場内を無料開放しており、牛主が闘牛を連れてきて稽古をする風景などを見ることが出来ます。

## 徳之島特集

## 伊仙町 伝統芸能



イッサンサン

### いつ行うのか

旧暦の8月15日の前の戌申（つちのえさる）の日に行われます。

しかし、ここ近年では、子供たち主体であることから、行事に参加しやすい日程で開催されています。

### 見どころ

豊年の神「イッサンボー」に見立てた「かかし」と子供たちが、各家々を回り、唄を歌います。

昔はお餅を貰っていましたが、最近では、お菓子も配るようになり、風変わりなハロウィンの印象もあります。

### イッサンサンとは？

徳之島の中でも、伊仙町の犬田布・木之香地域で行っているものを「イッサンサン」と呼びます。稲作の豊作を祈願する豊年祭りです。

## 特産品

### 伊仙町産マンゴー→

夏におなじみの、伊仙町産完熟マンゴー！

徳之島を代表する南国のフルーツで自然の恵みだけでゆっくり大切に育て上げた上質なマンゴーは、とろけるような口当たりで芳醇な香りと濃厚な甘さが口いっぱい広がります。



### 島バナナ ↓

普段、スーパーなどで見かけるバナナとは一味違い、甘酸っぱくもっちりとした食感が魅力的な伊仙町産の島バナナです。

皮が黄色から黒く斑（まだら）になってから食べ頃になります。



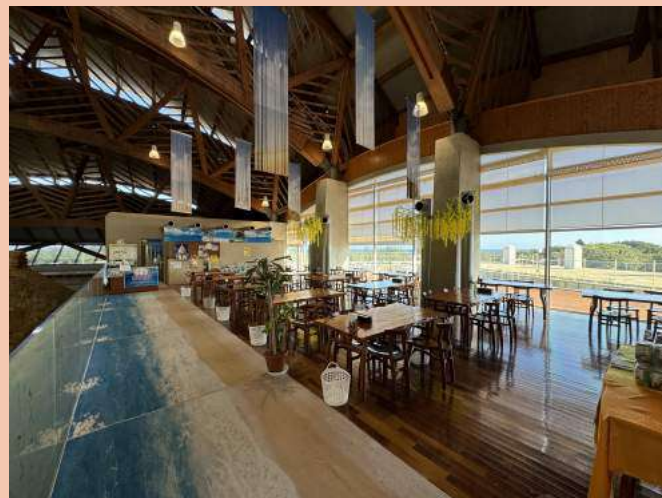
### ← マルシカ (焼酎・リキュール)

味わいと香りのバランスが非常に優れた黒糖焼酎マルシカと、マルシカをベースにした、シークニンとグアバ茶のリキュールです。





# 奄美パークのお食事とお土産



2階レストラン

## ISSON

薩摩の役人をもてなす為に作られた奄美の郷土料理「鶏飯」やレストラン名と田中一村を掛けた「一村定食」などのメニューが堪能できます。

営業時間 11:00～17:00

ランチタイム 11:00～14:00  
(ラストオーダー 14:00)

カフェタイム 14:00～17:00  
(ラストオーダー 16:00)

定休日 毎週水曜日

☎ 090-8918-7781  
(※ご予約・空席確認はこちらから)



ミュージアムショップ・Cafe

## 奄美 STORY



一村作品を鑑賞した後に、美しい美術館の風景を眺めながらハーブティーやお茶などはいかがでしょう？

一村関連の書籍やポストカードなどのグッズも販売しています。

営業時間 11:00～16:00  
(ラストオーダー 15:30)

定休日 毎週水曜日

お土産店

## 奄美物語



大島紬を使った小物などの伝統工芸品や黒糖を使ったお菓子、黒糖焼酎などの特産品を販売しています。

営業時間 10:30～17:00

定休日 毎週水曜日

# 奄美パークNEWS

## 承子女王殿下奄美パークご来園



### 小学生達によるお見送り→

女王殿下が御出発される際には、奄美市立笠利小学校の児童達がシマ唄「行きゅんにや加那」を披露し、一般のお客様と共にお見送りをしました。

令和5年10月15日(土)に、承子女王殿下が奄美パークを御視察されました。

奄美パーク宮崎園長の先導の下、奄美の郷で行われた「ハブの生態実演」をご覧になり、奄美の伝統芸能である「八月踊り」を赤木名八月踊り保存会会長の説明を受け、笑みを交えながらご覧いただきました。

また、ボランティア組織「奄美パーク応援隊」のメンバーも六調の伴奏で参加しました。



## 「田中一村展」開催決定！ 東京での大回顧展がついに実現！

特別展  
田中一村展 奄美の光 魂の絵画  
Tanaka Isson: Light and Soul



展覧会公式サイト

会 期  
令和6年9月19日(木)～12月1日(日)

会 場  
東京都美術館 (上野公園内)

休室日  
月曜日、9月24日(火)、10月15日(火)、  
11月5日(火)  
※ただし、9月23日(月・休)、10月14日  
(月・祝)、11月4日(月・休)は開室

主 催  
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、  
鹿児島県奄美パーク 田中一村記念美術館、NHK、  
NHK プロモーション、日本経済新聞社





# 奄美パーク利用のご案内

## 有料ゾーンの観覧料（個人・団体）

お得です！

（ ）内は 20 名以上の団体料金 | 単位：円

| 区分     | 共通観覧料     | 奄美の郷      | 田中一村記念美術館 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 大人     | 630 (500) | 310 (240) | 520 (410) |
| 高校・大学生 | 420 (330) | 220 (170) | 370 (290) |
| 小・中学生  | 310 (240) | 150 (120) | 260 (200) |
| 小学生未満  | 無料        | 無料        | 無料        |



- ※ 休園日は第1・3水曜日（祝日の場合は翌日）です。  
ただし、4月29日～5月5日、7月21日～8月31日、12月30日～1月3日の期間中は開園します。
- ※ 有料ゾーンは、奄美の郷の総合展示ホール及び奄美シアターと、田中一村記念美術館の常設及び特別展示室です。  
その他は無料で観覧いただけます。
- ※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び付き添いの方は減免措置がありますので、お申し出ください。

## 年間パスポート

大人 1,260 円 高校・大学生 840 円 小・中学生 620 円

奄美パークでは2回分の観覧料で1年間に何度でもご利用いただける、お得な年間パスポートを販売しています。  
奄美の郷受付にてお申し込み下さい。お申し込みいただいた全員に奄美パークグッズをプレゼント、また年6回来園された方には一村記念グッズをプレゼントいたします。

## 公式 SNS | Social Networking Service

# 鹿児島県奄美パーク # 田中一村記念美術館

LINE



YouTube チャンネル



Facebook・X(旧Twitter)・Instagram



## 鹿児島県奄美パークだより vol.27

〔発行〕鹿児島県奄美パーク 〔発行日〕2024 年3月

〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田 1834

〈奄美の郷〉 TEL : 0997-55-2333 FAX : 0997-55-2612

〈田中一村記念美術館〉 TEL : 0997-55-2635 FAX : 0997-55-2613



〔公式サイト〕 <http://amamipark.com/>